

おしゃべりと笑いが元気の源 高齢者学級合同交流会

中山・名和・大山地区の高齢者学級交流会が、9月10日に開かれました。約120人の参加者があり、おしゃべりによる交流と観劇を楽しみました。

午前は中山農村環境改善センターで、西部教育局の下前博司さんをファシリテーターに迎えておしゃべり交流タイムを行い、異なる地区の参加者同士がグループごとにテーマに沿ってトークを楽しみました。時間が足りないくらい盛り上がり、素敵な交流の場になりました。

午後は中山生活想像館ホールで、鳥の劇場によるジャマイカ民話「アナンシと5」の観劇でした。

独特なセリフ回しの劇を楽しんだ後に、劇団主催者による劇の体験コーナーが行われ、全員で大きな声でセリフの発声をしたり、選ばれた数人が劇の一場面を舞台上がって体験したりしました。

登場人物になりきってコミカルに演じる体験者の動きやセリフが、観ている方を大いに沸かせました。

昨年は台風の接近で中止となった交流会でしたが、今年は参加者の皆さんで一日を共有し、大いに親睦を深めることができました。



▲おしゃべり交流タイム



▲迷演技を披露

心通う雨の中での「ふれあい交流会」 『なわ通学合宿』

名和公民館

名和小学校の4年～6年生の23名が、9月18日から22日まで、家族と離れて4泊5日間の「通学合宿」を行いました。

御来屋漁村センターを会場に、子どもたちは多くの支援スタッフに支えられ、食事作り・掃除・洗濯・自主学習などをしながら、時には泣いたり笑ったりと、賑やかな共同生活を送りました。

また、6年目となる「ふれあい交流会」は、初めて雨天での開催となりました。案内状では、雨でも開催

することを伝えていましたが、果たしてどれだけ参加があるのか、子どもたちは心配していました。

ところが、雨にもかかわらずたくさんの来場者があり、子どもたちは大奮闘。元気な挨拶はもちろんのこと、小物のプレゼントや、食券の販売、心を込めたおもてなし、募金活動など、それぞれが受け持った役割をしっかりと果たし、満足度の高い「ふれあい交流会」になりました。

今回、通学合宿が地域に定着していることを改めて知る機会になりました。名和公民館では、今後も地域の皆さんと子どもたちの交流が深まる通学合宿を目指します。



▲玄関前で記念写真



▲ふれあい交流会